

令和2年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 令和2年10月12日（月）
午後2時00分～午後3時20分
- 開催場所 北庁舎3階第4会議室
- 出席委員 8名
都留会長、秋山副会長、岡本委員、加藤委員、金子委員、
小出委員、鈴木委員、松本委員
- 欠席委員 4名
小野満委員、齋藤委員、中島委員、目時委員
- 事務局
石橋政策総務部長、大井政策課長、吉本政策課長補佐、
岡村政策課副主幹、桜田理事、橋本主任
- 出席説明員
(行政管理部) 防災危機管理課 望月係長
(市民協働推進部) 地域コミュニティ課 本木課長補佐
(生活環境部) 産業振興課 山下次長（兼）課長、松本主査
環境政策課 渡辺課長補佐
地域安全対策課 向山課長
(子ども家庭部) 子育て応援課 中村課長、若山課長補佐
子ども家庭支援課 柳下課長、石田課長補佐
保育支援課 平澤課長補佐、横山係長
(都市整備部) 住宅課 竹内課長補佐
- 傍聴者 なし
- 議事日程
 - 1 開会
 - 2 確認事項
 - (1) 令和2年度第1回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議会議録（要旨）について
 - (2) 具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況の評価票の修正について
 - 3 審議事項
 - (1) 具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況の評価について（対象：令和元年度、5事業）
 - ア 多様な人材の就労支援

- イ 安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実
 - ウ 安心して子育てができる環境の整備
 - エ 防災・防犯体制の強化
 - オ 空き家などの活用
- 4 その他

■ 会 議 録 (要旨)

- 会 長 それでは、ただいまから令和2年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を始めます。
まず、本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。
- 事務局 (出席状況の報告)
- 会 長 ありがとうございました。
続いて、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。
- 事務局 本日は傍聴者なしです。
- 会 長 それでは、本日は傍聴者なしということになります。
続いて、本日の配布資料について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 本日配布した資料について説明いたします。
(配布資料の確認・説明)

【報告事項】

- 会 長 資料はお揃いでしょうか。
- それでは議事を進めます。
次第の2「確認事項」ですが、案件としては2件です。
1件目の「令和2年度第1回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会議録(要旨)」について、事前に事務局

からデータを送付してもらっていたので、各委員は確認いただいていると思いますが、事前に事務局に委員から修正依頼等はありませんか。

○事務局 修正が1点ございます。資料4ページ中ほどの市担当課発言の2行目、「本市の融資の種類については運転支援と設備、・・・」とありますが、「支援」という言葉が余計でしたので、削除させていただきたいと存じます。以上です。

○会 長 この場でも結構なので、他に修正はありますか。

(修正意見等なし)

○会 長 それでは先ほどのとおり内容を修正し、公開していくこととなりますが、よろしいでしょうか。
事務局は公開の手続きを進めてください。

○会 長 次に、確認事項の(2)「具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票の修正」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 (資料2に基づき、修正部分を中心に説明)

○会 長 前回の審議内容に基づいた評価票の修正の説明でしたが、意見等はございますか。

○会 長 1点指摘させていただきますが、5ページの追記部分の冒頭に「本市は全国でも珍しい～、その特性を生かした、イベントや講座などを実施している。」とありますが、「全国でも珍しい」という最初の言葉がどこに係るか分かりにくいので、その位置を後ろに移して、「～全国でも珍しいその特性を生かしたイベントや講座などを実施している。」とした方が分かりやすいと思いますので、そのようにしてはいかがでしょうか。

○事務局 担当課と調整し、ご指摘いただいた形で公表してまいりたいと考えております。

○会 長 それでは、このように内容を修正し、公開していくこととなりますが、よろしいでしょうか。

(了承)

○会 長 それでは、事務局は公開の手続きをお願いします。

○会 長 次に、次第の3「審議事項」、「(1) 具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価について」に移ります。
最初に施策「多様な人材の就労支援」ですが、まず、市の担当課の方から、担当課評価等について説明願います。

○市担当課（産業振興課・地域コミュニティ課）
（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○会 長 それでは、担当委員より説明をお願いします。

○担当委員 ①の実績については、目標値 36.8%に対して、令和元年度は 23.7%と数値の面では厳しい状況ではあるが、市の説明にもありましたが、シニアの就労意欲が高く、登録者が増加したため、就職率が下がってしまったということだと思います。

市とセブンイレブンの地域活性包括協定に基づく「シニア向けお仕事説明会」や都の「シニア就業支援キャラバン」などへの積極的な協力による新規求職者の増加や地域に密着した求人開拓でのマッチングは、評価できると思います。

②についてですが、女性向け再就職支援講座については、都による補助事業制度が終了したことで、講座数が減少している状況ではありますが、再就職支援講座については、再就職を目指すスタートラインとなることから、利用者ニーズを把握しながら、再就職に結びつくような講座運営をお願いしたいところです。

協議会評価としては「B」をつけさせていただきました。

○会 長 ありがとうございます。
他の委員からご意見などがあればお願いします。

○会 長 細かい点になりますが、2ページの担当課評価の「令和元年度の取組内容と評価」の②の中に「昨年度」という表現が2か所ありますが、今後、年度が進むといつのことか分かりにくくなるので、「令和元年度」と具体的に記載した方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局 担当課と調整した上で、修正いたします。

○会 長 よろしければ、担当委員から発表していただいた、評議会評価点と意見について確定したいと思います。

それでは、続いて施策「安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実」に移ります。

市の担当課の方から担当課評価等について説明をお願いします。

○市担当課（子育て応援課・子ども家庭支援課）

（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○会 長 それでは、担当委員から説明をお願いします。

○担当委員 ①子育てサイト及びアプリの継続した運営と幅広い情報提供を行っている事を評価します。新型コロナウイルスのためイベントが減り、孤立化して育児不安を抱える保護者もさらに増えていると思われます。新たに始った事業などの情報も提供し、適切な支援を選択することができるような総合的ウェブサービスの設置により、育児に係る不安を速やかに解消する機能をつくっていく事を早急に整備していく事を期待します。

担当課評価の中で、新型コロナウイルスの影響でイベントが減ったということで、数字も実際に減っているのですが、それに対してどのように対策を立てたかということがはっきりと書かれていないので、協議会評価の中に入れて込んで、対策を早急に準備していつてもらいたいということで、「期待する。」という言葉を入れています。

② 産前産後家庭サポート事業は、きめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安の解消等をはかられ、また、周知方法を工夫し

て、登録者も年々増えていることは評価できます。

登録者の増大に伴い、事業者数を増やすことなどを課題として捉えた取組に期待します。ということで、先ほどの事業者を増やしていくと考えているということですので、これは以前から協議会評価の中で、事業者が少ないのではないかとしてきたので、その点を踏まえてきちんと書かれているので、今後期待したいというところで書かせていただきました。

子育て世代包括支援センターのコロナ禍での影響については、そのことへどのように対応していくのかということについても、もう少し加えていただきたいと思います。妊娠期から子育て期までの切れ目のない継続した支援を広げていく事を、コロナ禍のことについても入れていくということで、「今後期待したい。」と書かせていただきました。

そのようなことで、数値的にはアクセスが落ちているところではあるのですが、全体として以前から協議会で出されたことを検討していただいているので、評価として「A」といたしました。

○会 長 ありがとうございました。
 ただ今の担当委員のご説明を含めて、ご意見をお願いいたします。

○委 員 資料5 ページにかかっているのは令和元年度のことだと思うのですが、「新型コロナウイルスの影響」は主に今年になってからですから、どうなのでしょう。

○担当委員 「年度」なので令和2年3月までになります。

○委 員 3月末までの影響ということで、分かりました。

○会 長 年度概念では3月までなのですが、新型コロナウイルスの影響が明確になったのは、極端にいうと3月なのです。
 最初の感染者は1月ですが、2月くらいから始まって、2月はまだそれほど深刻ではなかったもので、本格的な影響を受けたのは3月だけだったということにはなるのです。不思議なのは1年12か月で、例えば①の「ふわっとへのアクセス数」

が3月1か月でこんなに数値が落ちるものなのか、というのが疑問で、別の要因があるのではないのかという気がします。②の「新規登録世帯数」は増えているわけなので、1か月半くらいの新型コロナウイルス感染拡大でアクセス数がこんなに減ってしまったのか、委員がおっしゃったことの延長線上で、わたしも感じるところです。

実情としてはいかがでしょうか。

○担当課（子育て支援課） 3月1か月間の影響として18,000人ほど実績が落ちていきますので、すべてコロナウイルスの影響かといわれますと、おそらくそうではない部分があると思います。主に未就学児を対象としたサイトなので、未就学児が年々減少していて特に平成30年度から平成31年の4月の数値で比べても、人口減少の幅が非常に大きいところです。その人口減少を受けて、その保護者の方からのアクセス数が減っているものと捉えております。

資料では説明が不足しておりました。

○会 長 アクセス数は記録が残るはずなので、18,000人減ったのは3月だと確認されているのでしょうか。

○担当課（子育て支援課） 大幅に減少しているのは3月なのですが、それ以外の月についても減少の傾向は認められています。

○担当委員 わたしも子育て広場や子育て応援団などに関わっていたのですが、実際に2月の後半から3月は広場等がまったく開くことができていません。子育て中のお母さんたちは非常に敏感なので、どこにも出かけていないで閉じこもっている状況でした。アクセスもしなくなつて、遊び場所等も閉鎖されてということ、相当量減ったのではないかと考えられます。

○会 長 減っているのは事実ということですか。

こんなに減っていて評価が「A」というのは、説明欄のどこにがんばったという記述があるのでしょうか。

KPIは単純な数値目標ではなくて、担当課評価を踏まえて定性的な判断をするということなので、ざっくり言って6万

件から4万件に減っている中で、「A評価」ということをいうためには、それなりの説明がないと、①に関しては「A」という評価を維持するのは難しいのではないかと懸念されますが、そのところは担当課としてどうお考えでしょうか。

○担当課（子育て支援課） アクセス数に関しましては、確かに減少傾向にありまして、引き続きアプリ等々、施設からのお便りという形で子ども家庭支援センターや保健センター等からお知らせ機能を使って子育て情報を発信したり、さまざまな取組を進めているところです。

数値だけでは計れない部分については、このように取り組んでいるところですので、その部分を踏まえて評価を「A」とさせていただいたものです。

○会 長 であるならば、担当課評価に今おっしゃったことを書き込んだ方がいいのではないのでしょうか。

○担当課（子育て支援課） 主管課評価に追記をさせていただきたいと思います。

○会 長 他にいかがでしょうか。

それでは、先ほど私が言ったことは担当課で検討していただいて、アクセス数の減少を補うような取組があったと書き込んでいただきたいと思います。

担当委員、よろしいでしょうか。

○担当委員 アクセス数の減少についてはわたくしも気付いていましたが、評価からは落としてしまっていました。ご指摘いただきありがとうございます。

いま話しながら、違う方法でそれを伝えたというのは数値には入らないので、やはり評価としては「B」ではないのかと思いました。

○会 長 わたしは、書き加えることがあれば説明に書き加えていただいて、それで評価は「A」ということで申しあげましたが、そ

もそも評価は「B」なのではないかというご意見でした。

○委員 指標でみるというのであれば、目標が現状値以上なので、最初の24,807人以上というのが目標ですから、機械的にいえば、逆に「A」でいいと思います。これまでの経緯を見ても、低くなった時や急に増えた時など、けっこう波があることを考えると、年度末のコロナの状況で数値に大きく影響を受けることもありえるなど、今お話を聞きながら思いました。

わたくしの印象ですが、評価としては「A」のままで、内容としては加筆をされれば十分ではないかと思いました。

○担当委員 前年度の数値に比べてということでは捉えていましたので、最初の2万4千人から比べれば当然基準値以上だと思います。

○会長 「現状値以上」という目標値をクリアしているわけですから、減ったことに対して書き加えることがあれば、先ほど申しあげたように担当課で書き加えていただければと思います。

よろしければ、次に「安心して子育てができる環境の整備」です。担当課の方説明をお願いします。

○市担当課（保育支援課・子育て応援課・子ども家庭支援課）
（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○会長 担当委員をお願いします。

○担当委員 協議会評価としては、「A」といたしました。

全体としては、子育て支援の取組の拡充がすすんでいて、安心して出産、子育てのできる街に向けた環境整備は着実に進んでいると評価できます。

指標の一つ目の新生児訪問実施率が目標値に比べて下回っていますが、これは里帰り出産が多いということで、こういった数値にならざるを得ないと思います。

① 乳幼児対象の各種検診の受診率が高水準であることに加えて、里帰り出産の家庭には里帰り先の自治体への訪問依頼を行うなどきめ細かいケアが行われています。

今後は妊娠期から子育て期までの継続した支援体制づくり

に取り組んでいるとのことなので、継続、強化することが期待されます。

② 近隣の自治体とともに待機児童問題は深刻な状況にありましたが、認可保育所、認証保育所の定員増がすすみ、令和元年度は待機児童数が大きく減少しています。補足資料で確認をして記述しました。

③ 子育て中の親の孤立防止、子育て不安解消の取組も継続した取組になっています。子育て家庭の経済的負担の軽減策とともに、安心して子育てのできる街という市民意識にもつながっているということが出来ます。

○会 長 ありがとうございます。
ただ今の担当委員のご説明を含めてご意見をお願いいたします。

○会 長 それでは、9ページの担当課評価の文言ですが、①の2段落目、「令和元年度からは子ども家庭支援センター「たち」と母子保健係が1つの課となり」とありますが、これは組織改編が行われて、一体化して一つの課になったということですか。

○担当課（子ども家庭支援課） もともと部も違う部署の係同士がくっついて、子ども家庭部の中の一つの課「子ども家庭支援課」になったということです。

○会 長 それでは「子ども家庭支援課」という文言を入れた方がより明確になるのではないかと思います。

○市担当課（子ども家庭支援課） そのように対応いたします。

○会 長 同じ9ページの令和2年度における取組のところですが、5行目「新型コロナウイルス感染症蔓延の中でも」とありますが、何が蔓延で、何が拡大かというのは、人によって受け取り方が違うかもしれませんが、「拡大」くらいでよいのかと思います。

○市担当課（子ども家庭支援課） 事務局と調整のうえよい表記にいたします。

○会 長 このほか、担当課評価、協議会評価についてご意見等ありますか。

よろしければ、次の「防災・防犯体制の強化」に移ります。
まず担当課評価の説明をお願いします。

○市担当課（防災危機管理課・地域安全対策課）
（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○会 長 それでは担当委員から協議会評価についてご説明をお願いします。

○担当委員 協議会評価としては、「B」といたしました。

一つ目に関しては、防災訓練だけではなく、文化センター圏域自主防災連絡会における地域ぐるみの活動で、安否確認を全ての圏域で取り組むなど今後の防災意識を高める上で有効だと評価できる。

自然災害に対する市民の意識も高まっているからこそ、更なる防災についての周知、情報発信を継続してほしいと思います。

二つ目は、前々から13名程度しか人数が増えていない状況が見えていますので、地域安全リーダー講習会は参加者増に至っていないと、厳しく書かせていただきました。

総括にある通り若い世代の参加を増やすことが急務と考えます。ただ、参加者の半数の13名中7名が女性だったことは大きな成果ではなかったかと評価できます。

今期は文化センターでの地域に密着した講習を企画するなど工夫がみられますので、広く呼びかけをしていただき、次の地域に繋げて増やしていただければと考えます。

○会 長 ありがとうございます。

それでは、ただ今の説明についてご意見等ありますか。

○担当委員 地域安全講習会の参加者13名、前年も13名ということで人数が増えていないということと、若手がなかなか参加できないという現状があるのですが、担当課として案内先を変えたり、

声掛けする場所をいろいろ工夫しているのかお聞かせください。

○市担当課（地域安全対策課） こちらから声掛けをさせていただいた団体等もあります。その中で女性の参加が少ないということが検討材料でしたので、女性の参加増について団体等に声掛けをさせていただいたところ、女性参加者が増えたということがございます。

○会 長 ありがとうございます。
他にはいかがでしょうか。

○会 長 2ページの令和元年度の実施内容のところですが、②の5行目に「40歳の若手男性1名の参加を得ることができ」とありますが、平均年齢が高いからだというのは分かりますが、40歳が若手としていいのでしょうか。

○市担当課（地域安全対策課） 比較的高齢の方が多参加者の構成ですので、40歳代の方というのは年齢的には低く、「若手」として記載したところですが。記載については工夫をさせていただきたいと思います。

○会 長 他にご意見ないようでしたら、次に「空き家などの活用」に移ります。担当課から説明をお願いします。

○市担当課（環境政策課・住宅課・地域コミュニティ課）
(資料3に基づき、評価の概要を説明)

○会 長 ありがとうございます。では、担当委員ご説明をお願いします。

○担当委員 進捗状況評価について説明します。
空き家の発生予防や空き家の利活用・適正管理を市民に周知・啓発するためのセミナーや勉強会などを開催し、セミナー終了後の個別相談会を継続して実施されたことは非常に評価できます。今後も継続して実施していただきたい。

また、空き家を所有する市民等からの様々な相談に対応し、関係機関と連携した相談体制の準備が進められているところで、それが積み重ねられたところで利活用等につなげていくことの出来る取組だと思うので、期待していきたいと思います。

空き家等を活用したコミュニティ活動事例は、まだ未実施ですが、評価としては「C」ではなく、「B」としましたが、それに対応するように、空き家を地域資源として活用できるよう、地域コミュニティにおける人材と空き家をマッチングする具体的な手法や他自治体での実践例として、以前紹介したリトルワonzの母子家庭を対象にした居住支援などの様々な先行事例を参考に検討を行っていただきたいと思います。

また、コロナ禍などで始まった活動であるフードバンクやフードパントリーなどの活動拠点を探しが始まっていると聞きます。これは一例ではありますが、地域におけるコミュニティの拠点に対する要望が増えていると思うので、地域コミュニティを活性化させるため、今後様々な空き家の利活用の検討を進められて、実施されていくことを期待します。

○会 長 ありがとうございました。今の説明に対して何かご意見ありますか。

○会 長 事務局に対する質問ですが、この「空き家などの活用」という施策と同じ基本目標・基本的方向のもう一つの①の施策は何でしたでしょうか。

○事務局 ①の施策は「地域交流・活動の促進」で、その内容としては、

- ・ 高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。
- ・ 相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び東京農工大学をはじめ、市内の企業やNPO等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。という施策でございます。

○会 長 ありがとうございました。
「空き家等を活用したコミュニティ活動事例」というのが目

標ですから、実際に活用事例が発生しないといけないということになっているのです。でもその事例がないものですから、未実施が続いているわけで、それに対していろいろなやり方があるのではないかと、というご意見なわけです。

○担当委員 協議会評価の最後の行を「様々な空き家の利活用の検討を進め、地域コミュニティ活動が実施されることを期待したい。」と具体的な言葉を入れた方がよろしいかとも思いました。

○会 長 本件に関して、ほかにご意見ありますか。

これは、担当課の令和2年度における取組のところで、3項目目、4項目目でこういうことをやっていきたいと書かれていますので、協議会評価ではそれで頑張ってください、ということなのですが、地域コミュニティの活性化で空き家等の活用というのは、あらためて思うには、やはりハードルが高いですね。

京都の町屋とかであれば話は別になってくるのですが、また、空き店舗の場合も活用する方法もあるのですが、高齢の住民の方が移られて空き家になっているのは、それがそのまま存在しているのは地域にとって決していいことではないのでそれは何とかしなければいけないのですが、簡単ではないなというのが、私の感想です。

○会 長 他にはよろしいでしょうか。

よろしければ、この施策についての審議はこれまでにしたいと思います。

これで、本日予定されていた5つの施策について審議が終わりました。

本日の審議内容に基づき、事務局は評価票の修正等をお願いします。

○会 長 最後に、次第4「その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。

事務局からは何かありますか。

○事務局 事務局から2点ご連絡させていただきます。

次回会議の日程につきましては、11月4日（水）午後3時から、場所は市役所3階第1会議室を予定しています。次回ご審議いただく施策につきましては、次の4施策を予定しております。

「市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進」

「地域の連携によるにぎわいの創出」

「公共施設・インフラの計画的な管理及び運営」

「百人一首かるたを活用した観光誘客推進事業」

以上の4施策をお願いしたいと考えておりますので、ご説明いただく委員の方につきましては、よろしく願いいたします。

○会 長 事務局からの連絡事項も終わりました。
では、以上をもちまして、令和2年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を閉会いたします。
委員の皆様、お疲れ様でした。